

応用生物学コース

* 博士論文研究

- 最先端かつ高度な専門性と深い学識 (教育目標)**
(学習目標) ・ 自然現象を原子・分子レベルのミクロな立場から理解し、基本的なメカニズムを幅広い視野に立って工学的に応用することができる。
・ 遺伝子から生態に至るまでの生物学の基礎的知識を体系的に理解し、工学的に応用することができる。
・ 生物が関わる現象を化学の力で解き明かす知識ならびに思考力をもち、工学的に応用することができる。
- 高度な教養 (教育目標)**
(学習目標) ・ 豊かな人間性と社会性のための広い教養を身につけている。
- 高度な国際性 (教育目標)**
(学習目標) ・ 生命先端工学によって生み出された物質・技術を、高い英語力、自己表現能力により、国際科学誌への掲載、国際学会での発表などにより国際社会に発信することができる。
- 高度なデザイン力 (教育目標)**
(学習目標) ・ 物質科学と生命科学、情報科学を融合し、新しい先端科学の創成と、最先端バイオテクノロジーに応用することができる。
・ 生命先端工学分野について自ら設定した課題について、研究手法をデザインし、さらに発展させることができる。

* 生物学ゼミナールⅢ～Ⅷ

生物機能工学特論Ⅰ,Ⅱ

生命反応工学特論Ⅰ,Ⅱ

* 修士論文研究

- 高度な教養 (教育目標)**
(学習目標) ・ 豊かな人間性と社会性のための広い教養を身につけている。

生命先端工学特論Ⅰ

生命先端工学特論Ⅱ

* 生物学実験

バイオテクノロジー特論*

* 生物学ゼミナールⅠ

生物学ゼミナールⅡ

工学英語Ⅰ,Ⅱ

- 最先端かつ高度な専門性と深い学識 (教育目標)**
(学習目標) ・ 自然現象を原子・分子レベルのミクロな立場から理解し、基本的なメカニズムを幅広い視野に立って工学的に応用することができる。
・ 遺伝子から生態に至るまでの生物学の基礎的知識を体系的に理解し、工学的に応用することができる。
・ 生物が関わる現象を化学の力で解き明かす知識ならびに思考力をもち、工学的に応用することができる。
- 高度な国際性 (教育目標)**
(学習目標) ・ 生命先端工学によって生み出された物質・技術を、高い英語力、自己表現能力により、国際科学誌への掲載、国際学会での発表などにより国際社会に発信することができる。
- 高度なデザイン力 (教育目標)**
(学習目標) ・ 物質科学と生命科学、情報科学を融合し、新しい先端科学の創成と、最先端バイオテクノロジーに応用することができる。
・ 生命先端工学分野について自ら設定した課題について、研究手法をデザインし、さらに発展させることができる。

生物資源工学*(E)、ゲノム機能工学*(E)、細胞動態学*(E)、生命環境システム工学特論*(E)、細胞工学特論*(E)、生物化学工学特論、組織生産プロセス工学、微生物学特論*(E)、分子微生物学*(E)

* は必修、(E)は英語での講義

専門科目
高度教養教育科目
高度国際性涵養科目 (*は専門科目としても参入可能)